

授業科目名	保育実習指導 I	担当教員名	森下 真由美 入江 実
必修/選択	必修	開講学年・学期	1/2年 期間 (年間開講数 2講座)
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	2単位 (30時間)
施行規則に定める科目区分等	保育実習	授業方法/担当形態	演習 / オムニバス
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 保育士として長年にわたる実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。/児童養護施設主任児童指導員としての実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。
授業の概要及び全体目標	保育士の資格を取得するための必修科目である。保育実習の目的、内容、方法を理解し、実習生として必要な知識・技術を習得し、実習に対する意欲を高める。事前指導においては、実習における学びを有意義なものとするために、保育所、施設実習の意義、目的を理解するとともに、実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。また、観察や記録の仕方、内容などについても学習する。事前事後指導においては、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。		
到達目標	(1)保育実習の意義、目的を理解する。 (2)実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。 (3)実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 (4)実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解する。 (5)実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。		
テキスト	「実習ハンドブック」大阪教育福祉専門学校編著		
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社) 『月刊 保育とカリキュラム』(ひかりのくに) 『よくわかる保育所実習』(創成社) 新聞記事 等		
成績評価の方法	出席状況と授業の取り組み姿勢、提出物の内容等により総合的に評価		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	事前指導① (1年次・保育所) 保育所とは(保育時間・保育年齢・職員・遊びと生活等) 実習の意義・目的を理解し、実習内容を把握する 実習生の立場と心構え	(1),(2)	
第2回	事前指導② (1年次・保育所) 子どもの生活と実習のポイント(プライバシー保護と守秘義務について、実習内容の理解) 保育所の役割と保育所保育の特性(保育において大切にしたい事)	(1),(2),(3)	
第3回	事前指導③ (1年次・保育所) 保育実践(絵本の読み聞かせ)について 保育実践(わらべ歌・手遊び歌)について ※資料参照	(4)	
第4回	事前指導④ (1年次・保育所) 実習記録の記入の実践 ※資料参照 設定保育指導案について (年齢別保育内容) ※資料参照	(4)	
第5回	事前指導⑤ (1年次・保育所) 実習園での事前オリエンテーションに際しての心構え “あなたならどうしますかアンケート”より注意事項確認 ※資料参照	(1),(2),(3)	
第6回	事前指導⑥ (1年次・保育所) ホームページ等保育実践準備物確認 実習研究課題について ※資料参照	(1),(2),(3),(4)	
第7回	事後指導① (1年次・保育所) 保育現場での子どもと保育者のかかわりについて 実習配属年齢別グループ討議を通して振り返る お礼状について	(5)	
第8回	事後指導② (1年次・保育所) 保育現場での子どもと保育者のかかわりについて 実習配属クラス別発表 それぞれの保育現場において大切にされている事から学び合う 学びから実習生としての次回への課題 実習事後自己反省及び自己評価記入 実習記録提出	(1),(2),(5)	
第9回	事前指導① (2年次・施設) 見学実習 (施設見学ガイドス含む) 見学予定先の「社会福祉施設」の概要についての知識的理解		
第10回	事前指導② (2年次・施設) 施設実習とは 実習記録用紙一式作成と用紙解説		
第11回	事前指導③ (2年次・施設) 施設生活の一日 日課表作成		
第12回	事前指導④ (2年次・施設) 乳児院・児童養護施設について 実習日誌の書写		
第13回	事前指導⑤ (2年次・施設) 障がい児(者)施設について 実習日誌の書写		
第14回	事前指導⑥ (2年次・施設) わたしの研究課題の作成		
第15回	事後指導① (2年次・施設) 実習記録の整理 施設実習のまとめ作成		

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第16回	事後指導②（2年次・施設） 実習施設の種別ごとのグループ討議	
定期試験	定期試験は実施しない	